

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 三菱ケミカル旭化成エチレン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-2	
本票作成	部署名：水島工場生産管理課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		岡山県倉敷市潮通3-10	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 0.6 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 28 年度)			目標年度 (平成 33 年度)					
	427,310 t CO ₂			388,280 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 28 年度) の排出量					
	①	水島工場		427,310 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産数量		基準年度	目標年度
			382.4	380.0
		t CO ₂ / (千t)	t CO ₂ / (千t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標		関連数値 (平成 28 年度)		達成率 (%)
指標の状況	石油化学系基礎製品製造業	11.9	GJ/t 以下	14.0	GJ/t	85.0%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・削減目標は、現時点で予定している削減案件を考慮して算出 (原単位基準)。

(備考) 最終年度である2021年度(平成33年度)は定期修理年度

【目標削減率達成のための推進体制】

2016年4月の会社設立以降、エネルギー管理体制の整備を進めてきており、エネルギー管理統括者に副社長、エネルギー管理企画推進者に工場長を選任した。また、工場部門の管理職・スタッフの中からエネルギー管理者4名選任した。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島工場	(2016年度実施分) 分解ガス圧縮機中間冷却器運転最適化：2,114 tCO2/年削減達成

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島工場	(今後の実施予定分) ①エチレン塔インターリボイラー負荷調整によるプロピレン冷凍機負荷削減：2,813 tCO2/年削減見込み ②脱プロパン塔塔圧低下調整による還流比低下に伴うリボイラー蒸気の削減：405tCO2/年削減見込み ③製品メタン中のエチレン濃度増加調整によるエチレン冷凍機の動力負荷削減：317 tCO2/年削減見込み

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・旭化成と三菱化学の合弁会社として2016年4月三菱化学旭化成エチレン発足。2017年4月三菱ケミカル旭化成エチレンへ社名変更。
・エチレン製造設備は旧三菱化学設備に集約、貯蔵設備は旭化成、三菱ケミカル各事業所内に有するため、エチレン製造設備+貯蔵設備の合計値を、三菱ケミカル旭化成エチレン排出量として報告する。